

議第 140 号平成 29 年度福山市誠之奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について
日本共産党の討論を行います。

本会計は、財産寄付の趣旨に沿って、経済的理由で高等学校などへの就学が
難しく、社会的に有為な人に対して学費を貸与するものです。

当年度の貸付状況は、新規分は 5 人、継続分は 9 人であり、年度末貸付金現
在高は、2 1 6 1 万 8 千円、基金現在高は、1 億 5 2 4 万 5 千円とのことです。

平成 2 9 年度包括外部監査報告でも、「応募者は横ばいないし減少している」
「潜在的な需要を拾いきることが出来ていない可能性も存在する」との指摘も
あるように、制度の周知・啓発が不十分であることがうかがえます。

また、「財源の充実が必要」との指摘もあり、有利な運用方法を検討すべきで
す。

子どもの貧困問題の解決が重大な社会問題となっている中、同制度が果たす
役割はますます重要となっており、より一層の財源確保と補充を行い、利用者
を増加させるとともに、利用しやすい制度となるよう改善を求め、次の要望意
見を付して賛成いたします。

1. 第 1 回目の支給は 7 月となっておりますが、入学前に前倒して支給でき
るよう、あらゆる手立てを尽くして改善すること。
2. 奨学金についての広報や保護者への説明を、よりいっそう充実させ、利
用者を増やすこと。
3. 財源を充実させ、幅広い利用者へ貸与を広げること。
4. 給付型奨学金制度を拡充し、より一層利用しやすい制度を検討すること。

以上であります。